

名車「スカイラインGT-R」

LEDの置物に

米子の会社商品化へ

日産とライセンス契約



スカイラインGT-Rをモデルに開発したディスプレイを手にする
佐々木禎社長（米子市目下、日下エンジニアリング）

日本を代表する名車の一つ、日産自動車の「スカイラインGT-R」をモデルにしたディスプレイ（置物）を、電気器具製造の日下エンジニアリング（米子市目下、佐々木禎社長）が開発し、公認商品のライセンス契約を結んだ。同社が持つ発光ダイオード（LED）技術が評価された。熱狂的ファンの心をくすぐる商品で、インターネットなどとして需要を期待する。

同車はスカイラインの中でも、サーキット使用を主眼に開発されたスポーツモデルで、2002年に生産が終了した。ファンが多く、後継として「日産GT-R」が発売され、専門雑誌もあるほど根強い人気を誇る。佐々木社長は、14年来の愛車だったこともあ

り、自社のLED技術を生かし商品化を企画。アクリル板を車体の形にレーザー加工し、基板に制御回路を埋め込み、時間が経過すると白と赤の2色に変色する。GT-Rの純正エンブレムも発注して取り付け、こだわりも見せた。幅30センチ、高さ10センチ、奥行き5センチ。

一方、薄型4割増と天を伸ばし、2割減の4円。米子（同市）も4億1400万円、寝具なソフトの売し、5月の盛り返し



反響四カ所、1の同市松江市内であった。第一線で活躍するクリエイターを講師に、両校の学生……

見直しを遂行した人材の供給を企業誘致と雇用に結びつけようと、島根県産業技術センター、しまね産業振興財団が2008年から始めた事業の一環。講座はこれまで3年目で、過去には参加者の中から誘致企業への採用実績もある。

ネットの企画開発を手掛けるインディソフウェア（岡山市）は19日、6月の百貨店売上高を発表した。山陰地区4店の合計は前年同月比0・2%減の20億8100万円、5月の3・3%減から盛り返し、東日本大震災の影響もほぼ薄らいでい

中国四国百貨店協会（岡山市）は19日、6月の百貨店売上高を発表した。山陰地区4店の合計は前年同月比0・2%減の20億8100万円、5月の3・3%減から盛り返し、東日本大震災の影響もほぼ薄らいでい

2割減の8億2千万円、食料品は2・9%増の5億6100万円。中元の早期割引商戦などは堅調に推移した。このうち一畑百貨店（松江市）は4・3%増の6億4500万円。衣料品、食料品など全体的に売り上げを伸ばし

一方、薄型4割増と天を伸ばし、2割減の4円。米子（同市）も4億1400万円、寝具なソフトの売し、5月の盛り返し

公式商品として認めてもらうため、鳥取県の協力も得て日産に試作品を持ち込んで交渉。ライセンス契約、監修を経て新商品として承認された。同社経営企画本部によるとLEDを使用した関連商品は初めてで、品質の高さを評価したという。価格は2万1千円で、日下エンジニアリングが受注販売する。GT-Rにはエンジンルームなどに車体番号が印字されており、アクリル板にはナンバーも彫り込む。佐々木社長は「ニッチ（隙間）な分野だが、マニア受けはするはず。鳥取にも技術を持った企業があることをアピールしていきたい」と述べ、熱狂的なファンに加え、デモラーでの展示といった販路拡大も見据える。

経済

◇合銀が宅ローンへ
陰合同銀行は既存の住い、適用2%上乗せ
「預金連動」
きるよう
扱いを始め
預金連動
金残高に
シユバック
一定額以上
あれば、上
差し引きで
らせる。新
は昨年10月
うぎん預金
ーン」を発
既に住宅ロ
いる人も預
べるように
手数料は
月末まで無
らは5251